

これまでの部活動で一番思い出に残っていることは、先日の九州大会の二レース目です。順調にスタートをし、自分の得意な微風の中、第一マークを一番で回りました。第二マークを目指し帆走する際に見た、自分と第二マークの間に誰もいない、他艇が全部私を追いかけてきている光景は今でもはっきりと浮かびます。そのまま首位を守り抜き、男女合わせて一位をとりました。フィニッシュ後、三陽高校の北方監督が拍手を贈ってくださったのはとても嬉しかったです。また、総合順位では負けてしまいましたが、唐津東高校の女子に勝てたことが、なにより嬉しかったです。

彼女には、昨年、九州大会に出場した時から密かに勝ちたいと思っていました。彼女はジュニアからヨットをしており、世界選手権に出場するほどの実力があります。一年前の私はレース中に彼女の姿を捉えることができないほど置いていかれていました。国体でも彼女と同じレースに出場しましたが、結局敵いませんでした。国体が終わり、私はこう思いました。「絶対に、来年の九州大会は勝ちたい」

そして、たった一レースだけでしたが彼女に勝つことができました。目標だった人に勝つことができ、感極まる思いでした。これほどまでに成長できたのも、毎週熱心に指導してくださった豊原監督を始めとするコーチ陣、先生方、その他色々な面で支えてくださったOBの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。これからはこれまでの経験を後輩たちに伝え、また福高ヨット部が更なる高みを目指せるように尽力できればと思っています。

三年 川野真依